

危機管理・防災～付加価値～そして文化の創造へ －これからの取り組みの新たな方向感－

東京大学生産技術研究所

都市基盤安全工学国際研究センター

加藤孝明

(専門: 地域安全システム学, 都市計画, まちづくり)

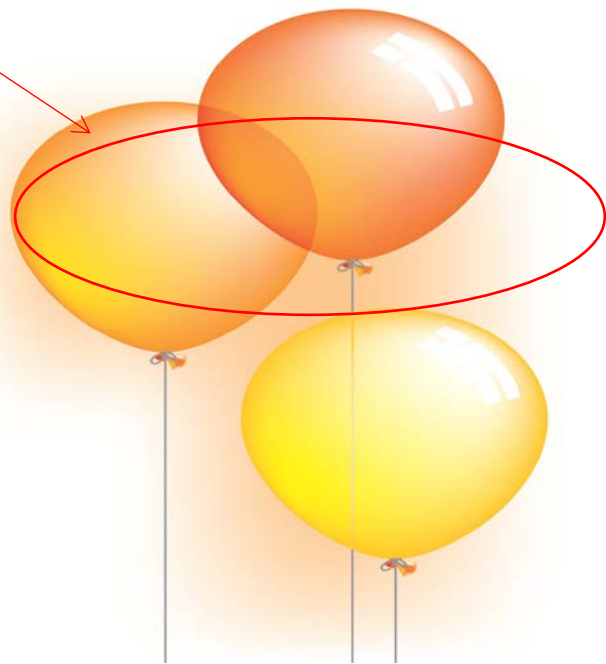
「都市を俯瞰して防災を考える」

3.11の経験から学ぶ

① 公助の限界と共助の重要性の再確認 ⇔ **災害規模** × 高密度高集積

時代感: シュリンクする行政に対応が不可欠
自律的, 持続的な「自助, 共助」の実現

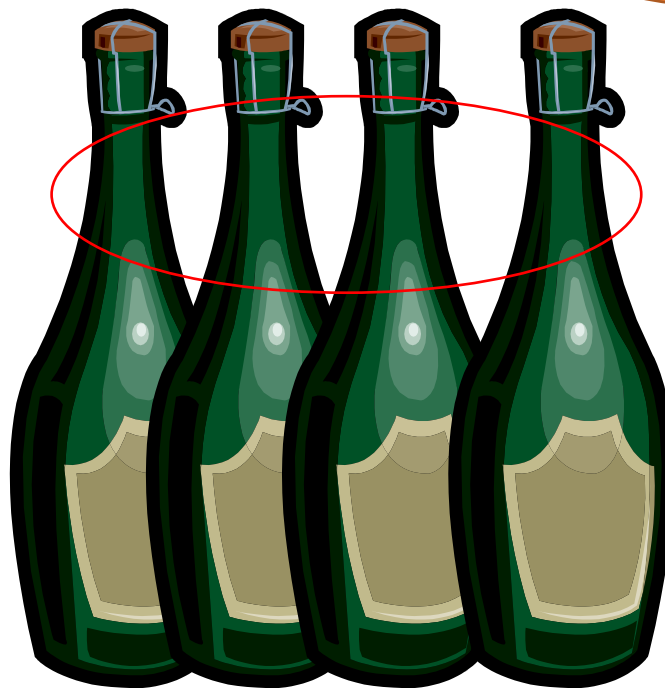
社会のニーズ



以前の行政

隙間を誰がどう埋めるか?
誰がどうつなぐか?

共助



現在の行政

① 公助の限界と共助の重要性の再確認 ⇔ 災害規模 × 高密度高集積 業務地区での取り組みの必要性

17	愛媛県	松山市	512,565	31	青森県	青森市	315,315
18	大分県	大分市	461,040	32	宮崎県	宮崎市	310,621
19	石川県	金沢市	456,569	33	沖縄県	那覇市	310,476
20	栃木県	宇都宮市	452,664	34	東京都	新宿区	299,808
21	長崎県	長崎市	447,471	35	滋賀県	大津市	299,494
22	富山県	富山市	422,321	36	福島県	福島市	290,575
東京駅周辺？	岐阜県	岐阜市	405,321	37	岩手県	盛岡市	287,972
24	和歌山県	和歌山市	380,483	38	徳島県	徳島市	267,253
新宿駅周辺？	長野県	長野市	380,144	39	茨城県	水戸市	名古屋駅周辺
25	奈良県	奈良市	371,785	40	山形県	山形市	255,168
26	香川県	高松市	338,911	41	福井県	福井市	252,104
27	秋田県	秋田市	336,243	42	佐賀県	佐賀市	207,020
28	高知県	高知市	335,681	43	鳥取県	鳥取市	201,421
29	群馬県	前橋市	321,219	44	島根県	松江市	197,977
				45	山梨県	甲府市	194,195
				46	山口県	山口市	191,195
				47	三重県	津市	164,619

③「内向け」に加え、「外向け」の情報を意識すべき

311東日本大震災の私の経験

- ロイター通信：
 - 首都圏では、M7の地震が起こる可能性があり、「30年で70%」と言われている。
 - 東京はそれに対して防災計画を策定し、備えている。
 - ただし、今回の経験をふまえると、仮に想定以上の地震が起こっても、準備している防災のシステム(しくみ)が破綻がしないようにする必要がある。
- AFP通信
- ドイツの通信社

「内向け(国内向け)情報発信」から
「外向け(国外向け)情報発信」へ

②「内向け」に加え、「外向け」の情報を意識

311東日本大震災の私の経験

- 中国での新聞報道
- 写真 「公衆電話を先頭に並ぶ長蛇の列」

重要な「外向け(国外向け)情報コンテンツ」

③ 3.11の首都圏の混乱をどう次に活かすか 少なくとも3.11の帰宅困難者「問題」に矮小化すべきではない

- 「問題」ではなく「現象」
 - 私的ヒアリングによる結論：
 - 「家族の愛情を確認するすばらしい機会であった」=イベント≠災害
- 業務地区での防災＝帰宅困難者問題(だけ)か？
- 問題の本質
 - 帰宅しなければならない社会全体のシステムの問題
 - ～帰宅しなくても良い社会システムの構築
 - ～帰宅困難にならないライフスタイル
 - 3.11では現れていない潜在していた未知の問題の存在



I . 危機管理・防災

幸せに暮らすための二つの方法

知ってる幸せ

知らない幸せ

为了幸福的生活有两个办法

什么？

- 第一：知道的幸福



自然灾害风险

- 第二：不知道的幸福

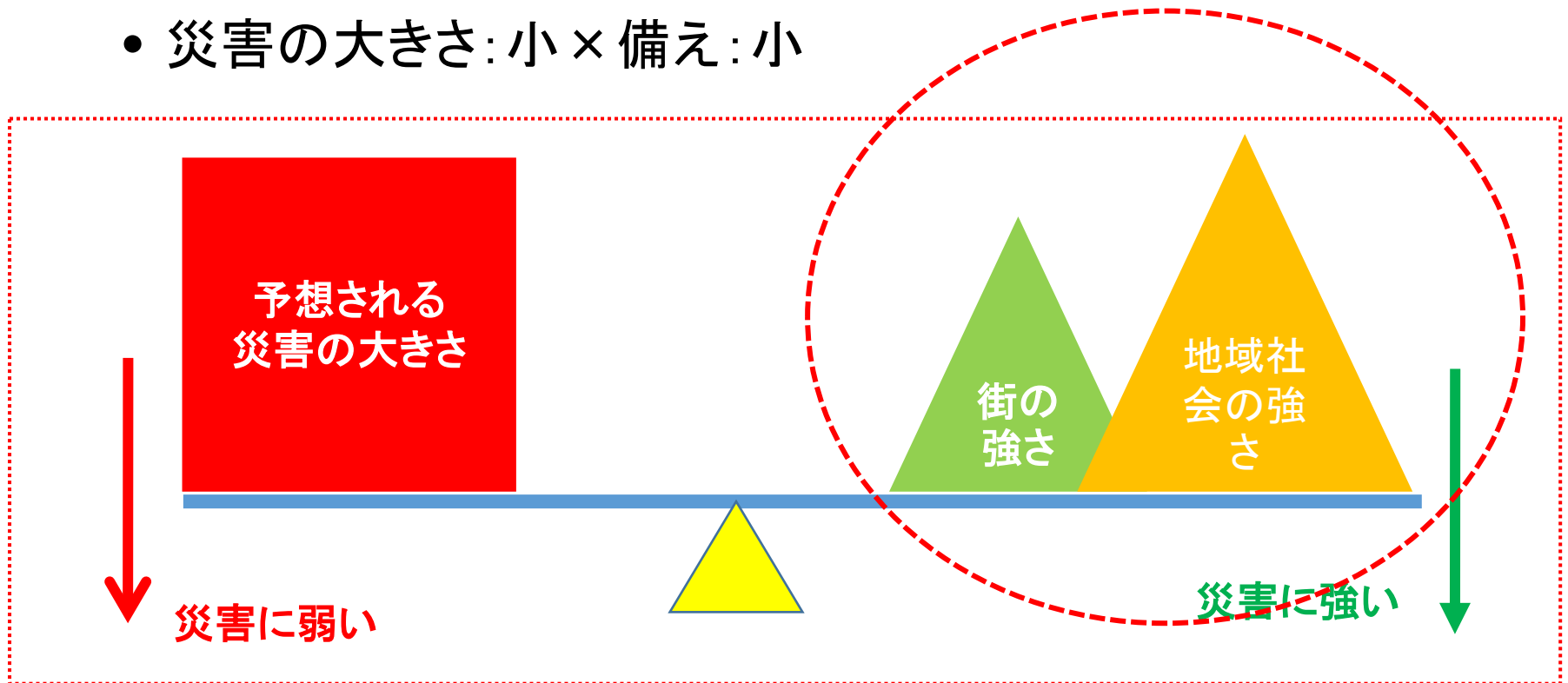
你们喜欢哪个？

想定される災害が大きいことは、マイナスか？

• どちらが良いか？

- 災害の大きさ: 大 × 備え: 大
- 災害の大きさ: 小 × 備え: 小

どれだけ膨らませられるか？



厳しい環境だからこそ、人間・社会の英知が結集する

Ⅱ. 付加価値

防災 = 義務かボランティア
防災 = コスト



前進させるエンジンが必要

災害への備えは付加価値

災害への備えを付加価値とした発展戦略づくり 防災の位置づけを考え直すヒント

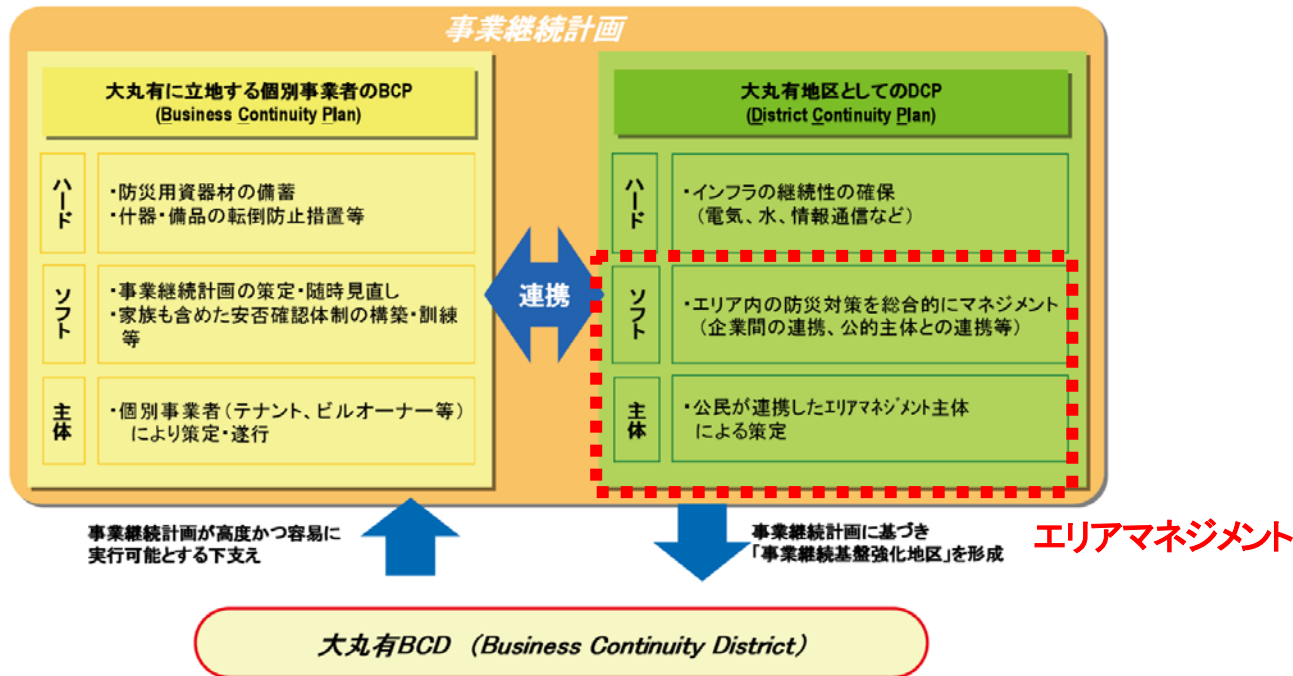
- 1990年代後半：天津市の事例：
 - 防災計画管理システムの開発
- 2009年「地方の元気再生事業」
 - 「YOKOSO! ASAKUSA 外国人観光客安心向上プロジェクト
～災害時にも安心のおもてなし～」



防災を付加価値として位置づける時代へ

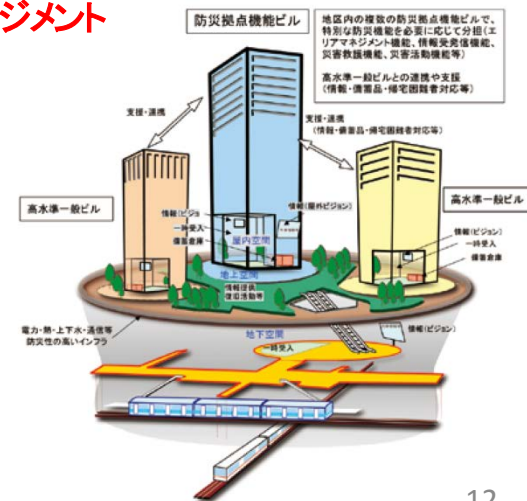
災害への備えを付加価値とした発展戦略づくり BCP (Business Continuity) から BCD (Business Continuity District) の形成へ

都市開発を通して
地域全体の安全確保へ



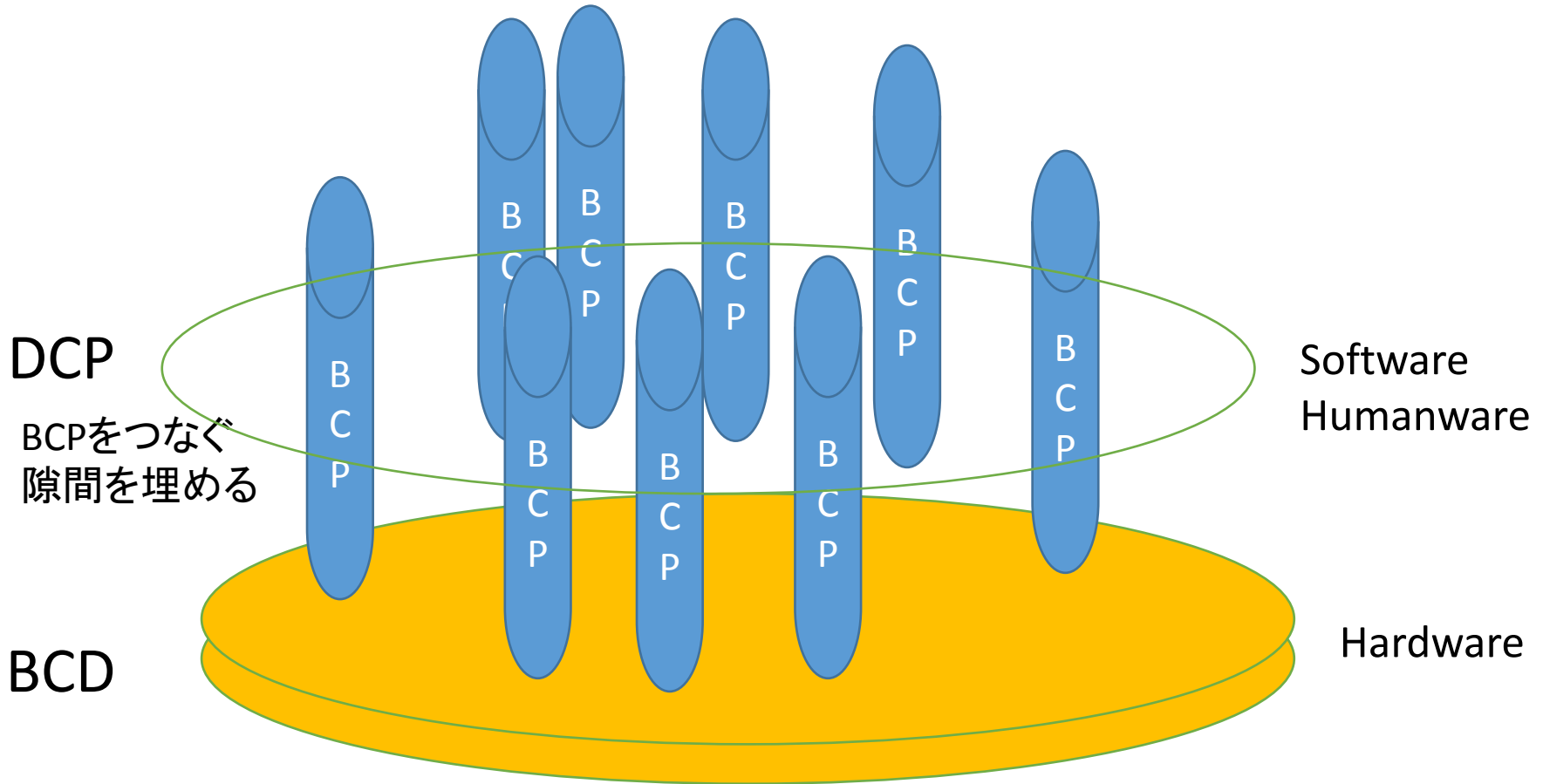
図：大丸有 BCD の対応例と主体イメージ

(「大丸有地区における災害に強いまちづくり検討委員会」(大丸有協議会) 報告書をベースに作成)



都市再生特別措置法に基づく
都市再生安全確保計画

災害への備えを付加価値とした発展戦略づくり BCPからDCP(CCP), そしてBCD



BCP : Business Continuity Plan

DCP : District Continuity Plan / CCP : Community Continuity Plan

BCD : Business Continuity District

そして文化の創造へ

キーワード: 日常化

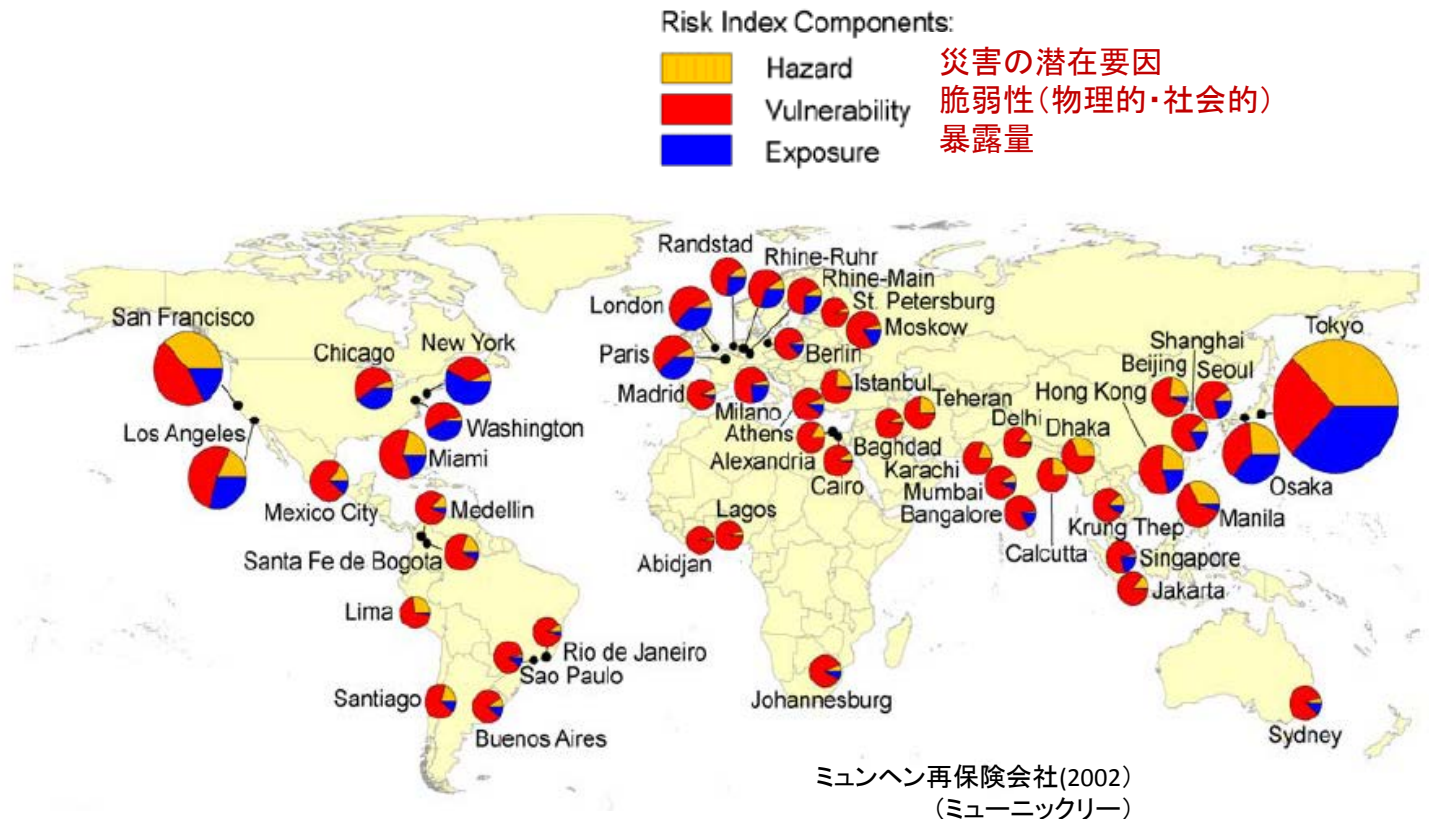
日常化による確実な定着
+
日常化によるコストの低減



男鹿市観光協会HP

21世紀型の「なまはげ」とは？

今後10年を試算. 世界301都市中2位 (台北について)



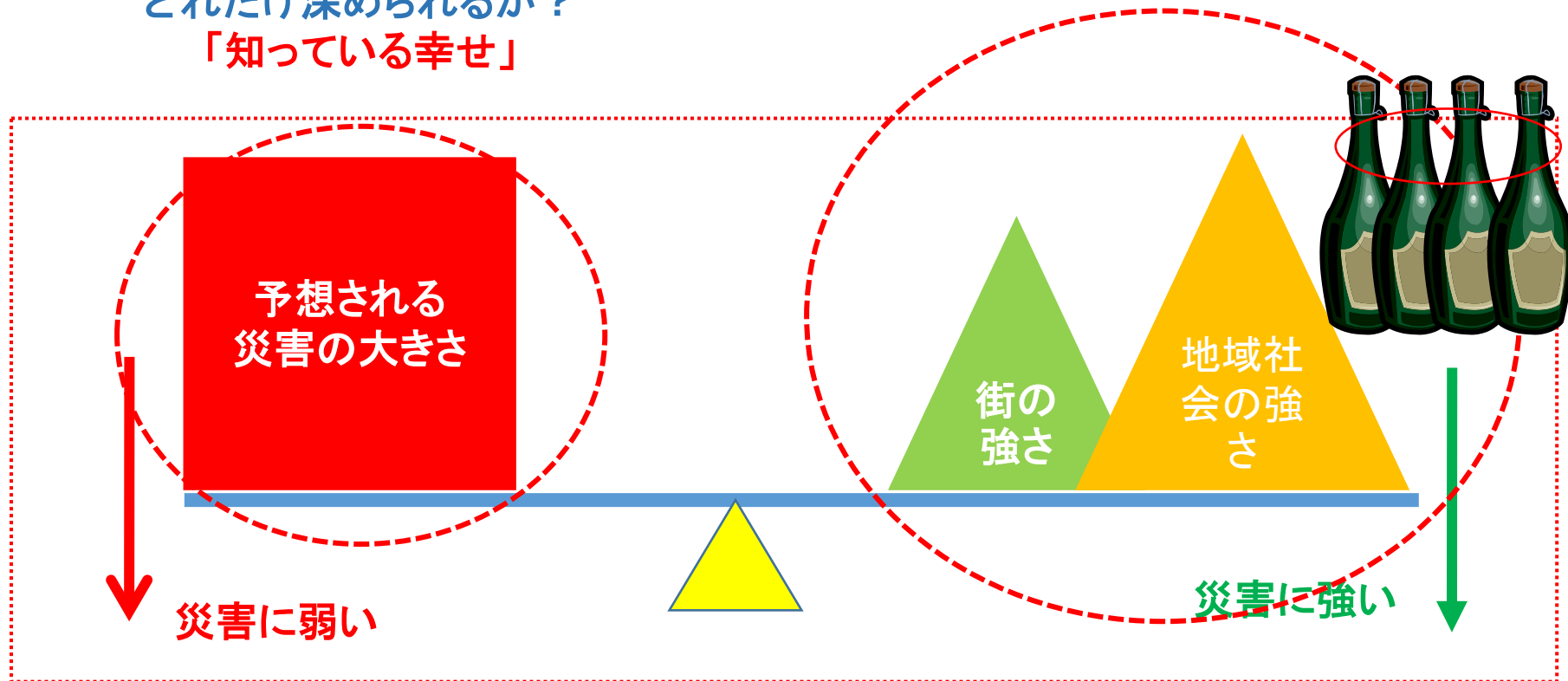
想定される災害が大きいことは、マイナスか？

どれだけ膨らませられるか？

新技術の導入

総合的なパッケージングの技術

どれだけ深められるか？
「知っている幸せ」



厳しい環境だからこそ、人間・社会の英知が結集する

ご清聴ありがとうございました